



校長通信

令和5年度31号 令和6年3月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《卒業生110人が巣立っていきました！》

3月8日、卒業式を執り行いました。コロナが5類となって初めての卒業式です。5年ぶりに在校生も全員参加し、和歌山市教育委員会の職員の方、育友会長、湊地区及び野崎地区の連合会長さんをはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、盛大に行うことができました。



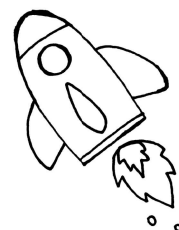
卒業生の入退場の音楽は、吹奏楽部の生演奏です。これも5年ぶりの取組です。卒業生代表の前生徒会長さんは、答辞で、楽しかった学校での生活を振り返り、多くのことを学んだこと、生徒会で校則について議論を重ね、一部校則変更尽力したことなどを、教職員を含めまわりの人々や家族の方々への感謝の気持ちを表しながら、述べてくれました。そして、最後に、新天地で困難に直面した時は、私が日頃から話していた「残心」という言葉を思い出し、力強く前に進んでいくと宣言してくれました。落ち着いた、堂々としたすばらしい答辞でした。現生徒会長の送辞も、先輩の卒業を心から祝福するとともに、河北中学校の伝統を引き継いでいこうという決意が表れたもので、とても良かったと思います。

卒業式の歌、在校生の「旅立ちの時」、卒業生の「旅立ちの日に」は、心がこもったすばらしい合唱でした。そして最後の全校生徒による「群青」は、会場いっぱいコーラスが響き渡り、感動のあまり、涙が止まりませんでした。素晴らしい、素晴らしい卒業式でした。

110人の卒業生には、それぞれの進路先で、元気にがんばってくれることを願っています。

《カイロス打ち上げならず！》

3月9日、宇宙事業会社「スペースワン」が、串本町のロケット発射場「スペースポート紀伊」から小型固体燃料ロケット「カイロス」を打ち上げすることになっていましたが、突然延期となりました。理由は、海上警戒区域に打ち上げの10分前になっても船舶が残留したためだそうです。



日本初の民間企業のロケット発射に、地元串本町はもとより和歌山県も大きな期待を寄せています。私も、ロケット発射の瞬間を見ようと、前日から串本町に住む次女の家泊めてもらい、現場近くにつめていたのですが、残念な結果になってしまいました。次回、いつになるかまだわかりませんが、次回は必ず成功させてほしいと思います。